

平成31年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成30年8月9日

上場会社名 五洋インテックス株式会社
 コード番号 7519 URL <http://www.goyointex.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大脇 功嗣
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 檀上 浜爾

TEL 0568-76-1050

四半期報告書提出予定日 平成30年8月10日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年3月期第1四半期の連結業績(平成30年4月1日～平成30年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第1四半期	327	21.2	59		59		99	
30年3月期第1四半期	415	10.7	112		139		141	

(注) 包括利益 31年3月期第1四半期 100百万円 (%) 30年3月期第1四半期 141百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第1四半期	4.93	
30年3月期第1四半期	8.53	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
31年3月期第1四半期	1,571	1,010	64.3
30年3月期	1,731	1,111	64.2

(参考) 自己資本 31年3月期第1四半期 1,010百万円 30年3月期 1,111百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期		0.00		0.00	0.00
31年3月期					
31年3月期(予想)		0.00		0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成31年 3月期の連結業績予想(平成30年 4月 1日～平成31年 3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	770	14.5	55		55		90		4.46
通期	1,900	8.6	50		50		10		0.50

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	31年3月期1Q	20,203,174 株	30年3月期	20,203,174 株
期末自己株式数	31年3月期1Q	5,236 株	30年3月期	4,370 株
期中平均株式数(四半期累計)	31年3月期1Q	20,198,276 株	30年3月期1Q	16,638,555 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、米国を中心とした貿易摩擦の強まりや人手不足の深刻化など先行きに対する不安要因はあるものの、堅調に推移した企業業績や雇用・所得環境の改善等を背景に、景気は緩やかな回復基調が見られました。当社グループを取り巻く事業環境は、室内装飾品関連(カーテン等)市場に影響を及ぼします新設住宅着工総戸数は減少しております。

売上高は、室内装飾品関連では平成29年5月に大幅改訂しました見本帳「インハウス」の販売により若干の増加となり、メディカル関連(平成29年7月に設立した子会社株式会社キュアリサーチが実施している先端医療検査に関わるサービス事業等)では順調に遺伝子検査の事務代行サービスの規模を拡大させておりますが、全体では、前年同四半期の売上高には及ばず、大幅な減少となりました。

利益面におきましては、特別損失として過年度決算訂正関連費用が発生したものの、販売費及び一般管理費において見本帳費及び販売促進費用等が減少したことから、損失は大幅に縮小しました。

以上の結果、売上高は前年同四半期比21.2%減の327百万円、営業損失は59百万円(前年同四半期は112百万円の営業損失)、経常損失は59百万円(前年同四半期は139百万円の経常損失)、親会社株主に帰属する四半期純損失は99百万円(前年同四半期は141百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失)となりました。

第2四半期以降におきましては、室内装飾品関連では見本帳「インハウス」による販売強化を図るとともに、もう1つのメインブランドであります「サザンクロス」見本帳の大幅改訂による売上高の確保、メディカル関連におきましては、健康予防医療的サービスやメディカルツーリズムサービスを本格稼働して収益拡大を目指してまいります。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

なお、当第1四半期連結累計期間より、報告セグメントの区分を変更しており、新たに量的な重要性が増したメディカル関連を追加し、量的な重要性が乏しいIT関連を省略しております。メディカル関連につきましては、前年同四半期の実績が無いことから、前年同四半期との対比の記載はしていません。

(室内装飾品関連)

売上高は、大幅改訂しました見本帳「インハウス」の販売により若干増加いたしました。

以上の結果、売上高は前年同四半期比0.2%増の306百万円、営業損失は「インハウス」の見本帳費及び販売促進費用等の減少により42百万円(前年同四半期は68百万円の営業損失)となりました。

(メディカル関連)

主に遺伝子検査の事務代行サービスの実施により、結果として売上高は20百万円、営業損失は17百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べ156百万円減少して943百万円となりました。これは商品が28百万円増加したものの、受取手形及び売掛金が107百万円減少、現金及び預金が78百万円減少したことなどによります。固定資産は、3百万円減少して627百万円となりました。これは、長期貸付金が5百万円減少したことなどによります。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べ159百万円減少し、1,571百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べ39百万円減少して366百万円となりました。これは、支払手形及び買掛金が23百万円減少、未払法人税等が11百万円減少、短期借入金が10百万円減少したことなどによります。固定負債は、20百万円減少して194百万円となりました。これは、長期借入金が21百万円減少したことなどによります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べ59百万円減少し、560百万円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ100百万円減少して1,010百万円となりました。これは、親会社株主に帰属する四半期純損失が99百万円になったことなどによります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年6月4日に発表しました第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想につきましては、現在のところ数値に変更はありません。今後、変更が生じる場合は、すみやかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成30年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	445,800	367,678
受取手形及び売掛金	292,636	184,838
商品	287,785	316,281
仕掛品	5,184	5,940
原材料及び貯蔵品	10,741	13,472
1年内回収予定の長期貸付金	20,000	20,000
その他	39,517	37,846
貸倒引当金	△1,611	△2,477
流動資産合計	1,100,053	943,579
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	150,869	147,977
機械装置及び運搬具(純額)	0	0
土地	289,500	289,500
リース資産(純額)	8,277	10,342
その他(純額)	12,297	8,688
有形固定資産合計	460,945	456,509
無形固定資産		
商標権	119	112
ソフトウェア	20,508	19,448
無形固定資産合計	20,628	19,560
投資その他の資産		
投資有価証券	26,497	25,631
長期貸付金	43,825	37,995
破産更生債権等	79,844	78,922
差入保証金	76,426	84,439
その他	2,901	3,588
貸倒引当金	△79,844	△78,922
投資その他の資産合計	149,651	151,654
固定資産合計	631,224	627,724
資産合計	1,731,278	1,571,304

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成30年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	127,700	103,719
短期借入金	56,000	46,000
1年内返済予定の長期借入金	86,952	86,534
リース債務	2,183	2,183
未払法人税等	15,724	4,195
未払消費税等	2,972	1,764
賞与引当金	11,200	19,225
その他	102,866	102,568
流動負債合計	405,600	366,190
固定負債		
長期借入金	149,391	128,071
リース債務	8,732	8,186
繰延税金負債	2,917	2,582
退職給付に係る負債	41,031	43,133
役員退職慰労引当金	5,324	5,324
資産除去債務	6,977	6,977
固定負債合計	214,373	194,274
負債合計	619,974	560,465
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,384,509	1,384,509
資本剰余金	697,805	697,805
利益剰余金	△978,819	△1,078,478
自己株式	△747	△1,020
株主資本合計	1,102,747	1,002,814
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	8,555	8,024
その他の包括利益累計額合計	8,555	8,024
純資産合計	1,111,303	1,010,839
負債純資産合計	1,731,278	1,571,304

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年6月30日)
売上高	415,048	327,089
売上原価	242,735	158,497
売上総利益	172,313	168,591
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	93,484	78,561
賞与引当金繰入額	6,838	8,025
賞与	-	1,587
貸倒引当金繰入額	△1,036	558
退職給付費用	2,385	2,430
業務委託費	11,521	10,342
賃借料	16,573	22,640
減価償却費	4,901	5,670
のれん償却額	906	-
その他	148,835	98,362
販売費及び一般管理費合計	284,412	228,178
営業損失(△)	△112,099	△59,586
営業外収益		
受取配当金	344	358
為替差益	-	542
貸倒引当金戻入額	-	614
その他	2,658	2,268
営業外収益合計	3,003	3,784
営業外費用		
支払利息	2,822	1,316
売上割引	148	210
持分法による投資損失	569	-
為替差損	762	-
株式交付費	25,822	-
その他	497	1,987
営業外費用合計	30,622	3,514
経常損失(△)	△139,718	△59,317
特別損失		
固定資産除却損	-	774
過年度決算訂正関連費用	-	36,995
特別損失合計	-	37,770
税金等調整前四半期純損失(△)	△139,718	△97,088
法人税、住民税及び事業税	2,520	2,571
法人税等調整額	△374	-
法人税等合計	2,146	2,571
四半期純損失(△)	△141,864	△99,659
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△141,864	△99,659

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年6月30日)
四半期純損失(△)	△141,864	△99,659
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	363	△531
その他の包括利益合計	363	△531
四半期包括利益	△141,501	△100,190
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△141,501	△100,190

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	室内装飾品 関連	メディカル 関連	計		
売上高					
外部顧客への売上高	306,285	—	306,285	108,763	415,048
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	306,285	—	306,285	108,763	415,048
セグメント損失(△)	△68,432	—	△68,432	△43,666	△112,099

(注)1 その他は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、IT関連等であります。

2 セグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失(△)と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成30年4月1日至平成30年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	室内装飾品 関連	メディカル 関連	計		
売上高					
外部顧客への売上高	306,819	20,270	327,089	—	327,089
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	306,819	20,270	327,089	—	327,089
セグメント損失(△)	△42,192	△17,394	△59,586	—	△59,586

(注)1 その他は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであります。

2 セグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失(△)と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

平成29年7月に設立しました株式会社キュアリサーチの先端医療検査に関わるサービス事業について量的な重要性が増したため、新たな報告セグメント「メディカル関連」として、当第1四半期連結累計期間より追加し、また、従来「IT関連」を報告セグメントとしておりましたが、当第1四半期連結累計期間より、量的な重要性が乏しいことから「IT関連」の記載を省略しております。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。